



医療法人敬仁会 函館おしま病院

リーフレット

理 念

“癒し癒される心からの医療”

1. 患者さまとは、お互いにひとりの人間として向き合います。
2. ホスピスのところを持って、患者さまとそのご家族を全人的に支えます。
3. 患者さまに医療の方法を正しくわかるように説明します。
4. 患者さまの人権を尊重し、患者さま中心の医療を提供します。

5. 患者さまのプライバシーを絶対に守ります。
6. 患者さまに質のよい医療サービスを提供するため、日々の研修、研鑽に努めます。
7. 他医療機関・施設との連携を図り、地域医療・福祉の発展に尽くします。
8. 緩和ケアの啓発および普及に力を注ぎます。

基本方針

〒040 - 0021 北海道函館市的場町19番6号
☎ (0138) 56 - 2308 FAX (0138) 56 - 2316
ホームページ <https://www.oshima-hp.or.jp>

当院の理念

医療には「救う」という側面だけではなく、「支え、寄り添う」という側面も大変重要です。ホスピスや緩和ケアのあり方は「支え、寄り添う医療」のお手本であり、その根底に流れる理念（ホスピスのこころ）はまさに医療や介護の原点であると考えています。

函館おしま病院は、2002年に前身である渡島病院よりバトンを引き継ぎ再出発しましたが、全職員がホスピスのこころを持って業務に当たるべく、「癒し癒される心からの医療」という理念を掲げました。この理念には、患者さんと医療者という関係である前に、お互いに一人の人として向き合い、対等かつ双方向性の関係性を築くという思いを込めています。もちろん対等と言っても、患者さんは病気を抱えた弱者ですので、そのことを忘れていません。

2003年12月、日本医療機能評価機構の認定施設となり、病院として第三者からの評価もいただきながら、継続的に質の向上に努めています。これまで緩和ケア病棟（ホスピス）20床・介護療養型病床36床の病院として運営してきましたが、2022年12月をもって介護療養型病床は閉鎖し、現在、入院機能は緩和ケア病棟のみとなりました。主としてがんを抱え苦痛症状の緩和を必要とする方の入院を優先的にお引き受けしていますが、非がんの方や介護疲労による短期

入院についても可能な限りお引き受け出来るような体制を持ちたいと考えています。

外来機能においては、一般内科診療、主としてがんを抱える方のための緩和ケア内科外来診療を行っています。また強化型在宅療養支援病院として訪問医療も積極的に行ってはいますが、今後は訪問看護ステーションを開設し、より在宅緩和ケアの機能を充実させ、人生の最終段階においてお家で過ごしたいと希望される方を24時間体制で支援していきます。

いずれの療養場所においても、ホスピスのこころをもって、その人らしさを尊重し、QOL（生活の質）を重視した関わりを大切にします。また患者さんだけでなく、ご家族の方も出来る限り支援していきたく思います。

地域においては、現在、緩和ケアの普及・啓発活動の一貫として南渡島地域包括緩和ケアネットワーク（MOPN）、道南在宅ケア研究会の発足・運営に関わっていますが、今後も患者さんやご家族と同じ目線に立った活動を目指します。

職員一同、ホスピスのこころを持って、自院の役割を認識しながら、地域の中に開かれた病院づくりに努力してまいります。どうか宜しくお願い致します。

沿革

- 昭和05年11月：函館市宝来町に『渡島病院』を開院し、院長に清水亮医師が就任。
 - 昭和19年08月：函館ドック会社へ譲渡し、『函館ドック外科病院』となる。
 - 昭和20年11月：清水亮医師が函館ドック外科病院院長に就任。
 - 昭和33年05月：法人化し医療法人敬仁会『渡島外科病院』と改称。理事長・院長に清水亮医師が就任。
 - 昭和38年03月：医療法人敬仁会『渡島病院』と改称。
 - 昭和42年07月：理事長・院長に藤浪健次郎医師が就任。
 - 昭和60年06月：的場町に移転。
 - 平成10年：病院改装。
 - 平成12年：医療療養病棟26床、介護療養型病棟36床の療養型病院となる。
 - 平成14年02月：理事長・院長に福徳雅章医師が就任し、病院名を『函館おしま病院』と改称。
 - 平成15年01月：抑制廃止宣言。
 - 平成15年12月：日本医療機能評価機構認定病院となる。(Ver.4.0)
 - 平成16年02月：ホスピス病棟竣工。既存棟改築工事着工。
 - 平成16年03月：既存棟改築工事完了。
 - 平成16年04月：医療療養病棟26床をホスピス病棟（緩和ケア病棟）20床へ転換し開設。
 - 平成16年05月：日本ホスピス緩和ケア協会会員登録。
 - 平成17年06月：第1期ボランティア導入。第1回追悼記念会実施。
 - 平成20年12月：日本医療機能評価機構認定更新。(Ver.5.0)
 - 平成26年02月：日本医療機能評価機構認定更新。(3rdG:Ver.1.0)
 - 平成26年06月：「内科・緩和ケア内科」を標榜
 - 平成28年04月：在宅療養支援病院取得。
 - 平成29年04月：機能強化型在宅療養支援病院となる。
 - 平成30年04月：在宅緩和ケア充実病院加算取得。
 - 平成30年12月：日本医療機能評価機構認定更新。(3rdG:Ver.2.0)
 - 令和02年04月：院長に小林篤寿医師、名誉院長に福徳雅章医師が就任。
 - 令和04年12月：介護療養型病床閉鎖。
 - 令和05年04月：理事長に河端聡医師就任
 - 令和05年11月：ホスピス病棟（緩和ケア病棟）28床へ増床、訪問看護ステーションおしま開設
- 現在に至る

ホスピスとは・・・

主として悪性腫瘍を抱える方が苦痛なく、その人らしく過ごすことを支援するプログラムでありその場所でもあります。

私たちのホスピスでは・・・

スタッフが1つ1つの症状について、時間をかけてお聴きし、苦痛の緩和を行っていきます。

医師や看護師は、正しい情報を提供し、治療や検査についてのアドバイスはいたしますが、決してそれを押し付けることはありません。あくまで、患者さまの自己決定権を尊重いたします。

民間療法も否定しません。外泊や外出（旅行など）を希望されれば、できる限り実現に向けて準備をします。

ご家族の方の声にも耳を傾け、精一杯支援します。

身体的な苦痛のみならず、精神的苦痛（病気を患うことでの不安・いらだち・恐怖など）、社会的苦痛（父親や母親としての苦悩・社会的立場としての苦悩など）、霊的苦痛（生きている意味や自分の存在の意味が分からなくなることによる苦痛など）など、さまざまな側面から支えます。

患者さまの苦しみを引き延ばすだけの延命処置や死をむやみに早めるような処置は施しません。

医師、看護師だけではなく、栄養士、薬剤師など多くの職種とボランティアによりチームワークを持って精一杯支えます。

お部屋に好きな絵を飾ったり、好きな音楽をかけたりできます。消灯時間やご家族の面会の制限はありませんし、いつでもご家族の方は患者さまと一緒に泊まることができます。また、簡単な調理場所もありますので、お好きな物を作って召し上がることができます。

季節の行事のほか、なるべく自然、芸術、音楽に触れる機会をご用意いたします。

患者の権利とパートナーシップ

私たちは、以下の権利を尊重し、安心して医療を受けられるよう努めます。

- 1) 人間としての尊厳が守られ、良質な医療を公平に受ける権利
- 2) 自らが受ける医療について十分な説明と情報提供を受ける権利
- 3) 自らが受ける医療について自己決定する権利
- 4) 自らが受けた医療について知る権利
- 5) 個人情報やプライバシーを保護される権利
- 6) セカンドオピニオンを求める権利

当院では、患者さまと医療者のパートナーシップの確立を重要な事柄と位置づけ「患者さまへのお願い」を提示しています。

安全確保のためにアレルギー歴などきちんとお伝え下さい。色々な場所で名前を名のっていただいたり、点滴の確認をしていただくなどの形で診療に参加していただきます。

窓口ご案内

☆ 緩和ケア内科診療の新患受診予約は、事務受付まで
お気軽にご相談ください。

(病院代表電話)
0138-56-2308 まで

ホスピス病棟（緩和ケア病棟）は医療保険の適用病棟です

他院

当院

【入院費用】

- ・ 医療費
- ・ 食事療養費
- ・ その他（差額室料・TV料等）



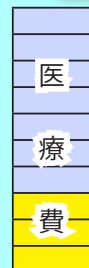
=

ホスピス病棟
（緩和ケア病棟）
保険医療機関

医療保険

他の医療機関に入院された場合と同じ扱い。

当院ホスピス入院医療費（1ヶ月）



限度額適用認定証
提示

3割負担で
約45万円

自己負担額
約9万円

高齢者医療制度などの適用者は
更に負担が少なくなる場合がある

「ホスピス」は特別高額な費用がかかると心配されている方が多いのですが、各健康保険や高齢者医療制度の適用になり、他の医療機関に入院された場合と保険制度上は同じ扱いになります。

ちなみに1ヶ月の医療費は3割負担で約50万円かかりますが「限度額適用認定証」の提示があると一般世帯で約9万円の自己負担額となります。尚、入院期間・所得状況により自己負担額は異なり、食事療養費の負担も有りますが、これも他の病院に入院した場合と同様です。また、生命保険の入院給付金の対象にもなります。

どうぞご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ、またはご相談ください。

項目		料金（税込）		設備・備品・備考
差額室料	特別室A 4室 (21.42㎡)	1日	5,500円	テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、応接セット、ロッカー、畳セット（または折りたたみベッド）+ 家族用布団1セット
	特別室B 6室 (18.29㎡)	1日	2,750円	テレビ、冷蔵庫、応接セット（簡易ベッドタイプ）、ロッカー、家族用布団1セット
	特別室C 2室 (19.50㎡)	1日	3,300円	テレビ、冷蔵庫、ソファベット、ロッカー、家族用布団1セット
一般室 16室 (16.68㎡)		差額 なし		
全室完備品		冷暖房、ウォシュレットトイレ、シャワー洗面台、オーバーテーブル、調光照明、Wi-Fi		
テレビ・冷蔵庫セット		1日	440円	21インチTV（特別室A・特別室Bは無料）
家族室備品利用料 （電気・布団2セット）		日帰り 宿泊	1,540円 2,200円	10時～17時まで ※清掃17時～18時 18時～翌朝9時まで ※清掃9時～10時
家族浴室利用料 （予約制）		1家族 1時間まで	330円	給湯・排水・洗浄等全てセルフサービス 利用可能時間 15時～21時
家族用寝具 （貸出用）		1日（1泊）	布団1セット 220円	折りたたみ式
			折りたたみベッド 220円	
畳セット		1日	330円	収納庫付き1畳タイプ
付添い食		1食	朝：440円 昼・夕：各500円	前日午前中までにご注文下さい。
洗濯機・乾燥機		1回 30分	洗濯機 200円 乾燥機 100円	コインランドリー式 各1台 乾燥室あり
パジャマ		1日につき 110円		
フェイスタオル		1日につき 55円		
バスタオル		1日につき 55円		
その他		理髪代、クリーニング代およびオムツ代など日常生活に必要な物品等については、実費負担となっております。		

外来診療のご案内



訪問診療

病院から 30 分以内の範囲を基準に訪問診療を行っています。
ご相談は医療相談室まで。

特定健診など、ご相談に応じています。
お問い合わせは、事務受付までお気軽にどうぞ。

入院施設のご案内

ホスピス病棟

「ホスピス（緩和ケア）病棟」は、主として悪性腫瘍による全人的な苦痛を緩和するための病棟です。

より穏やかな環境で、ボランティアを含む厚みのあるチームによって、患者さまの QOL 向上に重きを置いた治療やケアを提供し、精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛の緩和にも力を注いでいます。

また、ご家族も患者さまと同じように支え、遺族ケアにも取り組んでいます。

★患者の権利とパートナーシップ★

私たちは、以下の権利を尊重し、安心して医療を受けられるよう努めます。

1. 人間としての尊厳が守られ、良質な医療を公平に受ける権利
2. 自らが受ける医療について十分な説明と情報提供を受ける権利
3. 自らが受ける医療について自己決定する権利
4. 自らが受けた医療について知る権利
5. 個人情報やプライバシーを保護される権利
6. セカンドオピニオンを求める権利

当院では、患者さまと医療者のパートナーシップの確立を重要な事柄と位置づけ「患者さまへのお願い」を提示しています。

安全確保のためにアレルギー歴などきちんとお伝え下さい。色々な場所で名前を名づけていただいたり、点滴の確認をしていただくなどの形で診療に参加していただきます。

内科・緩和ケア内科

内科を中心に、心の問題を含めて総合的に診療しています。

なお、緩和ケア内科（緩和ケア診療）は、悪性腫瘍による苦痛の緩和や精神的支援を行います。初診の場合、予約制での診療となります。受診希望の場合は、事務受付へお申し出ください。

外来診療時間表

曜 日	時 間	
内科・緩和ケア内科 月～金	午前	9:00 ～ 12:30
	午後	13:30 ～ 16:00
緩和ケア内科 初診時（予約制）	火（午前）／ 金（午後）	
訪 問 診 療	火・木（午後）	
土・日・祝日	休 診	



入院に関するお問い合わせ・ご相談・施設見学は

☎ (0138) 56 - 2308 までお電話ください。

ホスピス病棟病室紹介 (3タイプ)

特別室 A (21.42㎡)



特別室 B (18.29㎡)



お部屋は、全室トイレ付き個室となっており、ヒバ材の腰壁を施し、木の温もりと安らぎの空間を提供しています。

また、冷暖房、シャワー洗面台、テレビ、冷蔵庫、インターネット回線等を完備。

特別室には、応接セットまたはソファを設置。付き添われるご家族のために、簡易ベッドタイプになっています。

特別室 C (新棟)



一般個室 (16.68㎡)



一般個室は、差額室料がかかりません。各種調度品は、別途ご利用可能です。

病院案内図



J R 函館駅より 車で約 10 分
函館空港より 車で約 15 分

函館バス：



[85] 系統 的場町 徒歩 6 分
[51 A・55 F] 系統
中部高校裏 徒歩 15 分



[84] 系統 日乃出・五稜郭循環バス
「鈴かけ通」または「的場町団地前」
バス停 徒歩 5 分

